

東京都小学校国語教育研究会研究主題

他者と協働し、豊かな言語生活を実現する国語学習 —学びを通して身に付けた言葉の力を日常生活で生かそうとする—

話すこと・聞くこと部 研究主題

求めて関わり、自他の充実を目指す話合い

第5学年国語科学習指導案

単元名 つなごう 役割のバトン！ めざせ、よりよい学校生活 ～考えを出し合い、まとめる話合いを通して～

学習材名 「よりよい学校生活のために」(光村図書 5年)

日 時：令和8年2月5日(木)5校時

児 童：府中市立若松小学校 第5学年2組 31名

指導者：府中市立若松小学校 主任教諭 飯島 加奈子

1 単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
〔知識及び技能〕(2)イ
- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。
〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)ア
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
〔思考力・判断力・表現力等〕A(1)オ
- 思考にかかわる語句の量を増やし、話や文章の中で使うことができる。
〔知識及び技能〕(1)オ
- 言葉がもつ良さを認識するとともに、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。
〔学びに向かう力・人間性等〕

2 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 (2)イ ②思考にかかわる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。 (1)オ	①「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 A(1)ア ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 A(1)オ	互いの立場や意図を明確にしながらか、学習の見通しをもって身の回りの問題を解決するために粘り強く話し合おうとしている。

3 単元構想

(1) 児童について（児童観）

1学期に実施した「きいて、きいて、きいてみよう」では、「みんなの知らない友達の魅力を見付けよう」というめあてで学習に取り組んだ。みんなが知らないことをインタビューで聞き出すという活動だったが、どのように聞けばいいのか分らず固まったり、質問をつなげることができなったりして、内容を深めることができていない様子が見られた。また、「どちらを選びますか」の学習では、互いの立場を明確にして、意見を伝え合うことはできたが、色々な意見を一つにまとめて結論をだすことが難しく、意見の折り合いをつけることが課題であると感じた。友達と話をする中で考えを広げたり深めたりすることは好んで行うが、計画的に話をするということに苦手意識をもっている様子が見られる。本単元では、自分の立場を明確にして話し合う必要があり、また、意見をまとめていく必要もあるので、自分たちの課題を意識して話し合いの力を高め、他教科につなげていけるようにしたい。

高学年に向けて、どのような意識をもっているのかのアンケートを取ったところ、以下のような結果となった。

質問内容	
今の学級は、居心地がいい	60%
今の学級の仲間とやってみたいことがある	48%
学級内で、自分の役割を果たすことができている。	60%
学級内で、「もっとこうなったらいいな」と思うことがある。	68%
委員会やクラブ活動等で、6年生にお世話になっていると思う。	72%
6年生の姿を見ていて、見習いたいなど思ったことがある。	64%
来年、自分はどんな6年生になりたいか考えることがある。	52%
高学年として、下級生の手本となるよう意識して行動することがある。	60%
学校全体のことを考えて活動をしたことがある。	40%
学校全体でもっとよりよくなるために、やってみたいことがある。	40%

学級に対して意識していることは高く、充実させていきたい思いがあるように感じるが、まだ学校全体へ意識をもっていくことは難しい様子が見える。この単元を通して、「自分がなりたい6年生像」の意識がもてるようにしていきたい。

また、話すこと・聞くことに関する内容で、自分ができていると思うところについてアンケートを取ったところ、以下のような結果となった。

話すこと・聞くこと系統表		
2年	●考えを出し合い、話をつなげる	
	話題を確かめ、自分の考えを言う。	56%
	友達の考えと自分の考えの同じ所や違うところを見つける。	56%
	友達の考えを聞いて思ったことを話したり、質問したりする。	56%
3年	●話し合って考えを広げる	
	全員が意見を出し、互いの考えを認めながら話し合う。	50%
	出された意見について、質問したり、つけ足したりして考えを広げる。	66.7%
	●進行を考えながら話し合う	
	話し合いの目的と、決めること、役割、進め方を確かめる。	63.3%
	出た意見の、同じところや違うところを整理しながら進める。	36.7%
司会の進行に沿って、みんなでどうやって決めるのかを意識しながら話し合い、考えをまとめる。	70%	
4年	●自分とは違う立場になって考える	
	相手の言葉や言動に、どんな理由があるのかを考える。	82.8%
	相手を知っていることや、望んでいること、受け止め方を想像し、言い方を考える。	55.2%
	●役割を意識しながら話し合う	

年	司会グループは、話し合いの目的と議題、進め方を示し、出された意見を整理しながら進行する。	43.3%
	提案者や参加者は、自分の考えとその理由を明らかにして発言したり、質問したりする。	43.3%
	整理した意見の中から、目的と決め方に合わせて結論を出す。	13.3%
5年	●二つの立場から、意見を述べ合う	
	質問し合って、考えの違いを明確にする。	51.7%
	互いの考えの良いところや問題点を比べ、どちらの考えに説得力があるかを考える。	72.4%

自分の考えを相手に伝えたり、相手の話を聞いたりすることは比較的できていると考えている児童が多いが、話し合って結論を出すというところに課題を感じている児童がとて多いことが伺えた。また、友達の意見に対して質問をしたり、意見を比較したりすることも苦手に感じている児童がいる。本単元でグループで意見を比べたりまとめたりして、グループで一つの結論を出す学習を行う中で、課題となっている部分が身に付けられるようにしていきたい。

(2) 学習材について（学習材観）

5年生は今、あと数か月で最高学年となる時期である。6年生の姿を見て、理想の最高学年について意識している児童も多い。「自分たちが、最高学年に向けてレベルアップできること」を考えさせることで、6年生への感謝の気持ちや、下学年への思いやりの気持ちを育てていきたい。

自分たちで話題を設定し、実現するための話し合いを進めていくことで、自分の立場を明確にして、計画的に話し合い、意見をまとめていく力を身に付けていけるようにしたい。

また、話し合って決めたことを実施することによって、最高学年へ向けての意欲をより高められるようにしたい。

(3) 単元について（単元観）

本単元では、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることが活動の重点である。見通しをもって学習に取り組めるように、単元の途中に、教師が司会役となって理由や根拠を聞き合いながら意見を整理するモデルを示す。また、これまで話し合った経験を振り返りつつ、モデル動画や既習事項の確認表と比較しながら、考えの伝え方や考えの整理の仕方、まとめ方の工夫について児童と考えるようにする。ここで具体的なポイントを明確にし、単元の話し合いについて自己評価を繰り返すことで、よりよい考えにまとめていく学習ができるようにする。

また、決定条件を意識しながら、児童自身が意見の広げ方やまとめ方を調整して話し合えるように、同じような流れの話し合い活動を2回設定した。自分たちの話し合いを振り返り、反省点を次の活動で活かせるようにすることで、話し合いが充実するようにしたい。

4 研究主題に迫るために

(1) 「言葉による見方・考え方」を働かせる学びをつくる

高学年は、「目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討している」こと、また、「互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている」ことが発達段階として求められている。本単元では、グループ内での話し合いにおいて、どのような言葉を選び、どのような言い方で伝えれば相手に伝わるかを吟味し、分かり合えるように話をしていくことで「言葉による見方、考え方」を働かせたい。

そのために、単元の中で、既習事項の確認表を活用し、今の自分ができていることや課題を自覚し、どんな力を身に付けたいかを意識して学習することが必要であると考え、振り返ることができるようにした。また、2回の話し合い活動を設定することで、どのような言い方をすればよいかを考える機会とした。相手に伝わりやすい言葉を見つけて活用していくことで、言葉への意識が高まり、より効果的な話し合いになると考えた。

(2) 児童が（本単元において）身に付けたい力を意識し、自ら学びを進める。

○既習事項の確認

単元の前半で、1年生から4年生で学んだことを振り返り、自分がまだできていない課題を見付けることができるようにした。今までの話し合いの学習を振り返り、うまくいったことやできなかったことを意識することで今の自分の話し合いの力を自覚し、本単元で身に付けるべき力に向けて何が必要かを考えてめあてをもつことで、主体性をもって学習に取り組むことができると考えた。

○話し合い活動の設定

単元の中で、クラス全体で話題を決める話し合いを行った後、グループでの話し合いを2回取り入れている。

1回目は内容を決める話し合い、2回目は、実行に向けた話し合いを行う。学習の最後に、自分たちの話し合いを振り返ることでよかった点に気付いたり、自分たちの課題を見出したりすることができる。学んだことを次回にすぐ実践することができ、話し合う力をさらに伸ばすことができると考えた。

- (3) 学習活動（言語活動）において、自らの考えをもち、多様な考えをもつ他者と関わり協働する中で、新たな考えをもつ。（考えを確かにする、広げる、高める、深める、などを含む）

○テーブルシートの活用

自分の考えを書いたカードを1枚の台紙（テーブルシート）に貼り、動かしながら話し合うようにする。そうすることで、自分の考えをもって話し合いに臨むことができ、互いの考えも可視化され、分かりやすくなる。また、話し合いの中で出た意見をテーブルシートに書き込むことで、自分たちの話し合いを振り返ることができ、主体的に話し合いを進めることができる。

○決定条件

「最高学年に向けてレベルアップする」ために自分たちができること、ということ意識して話し合う。自分たちで話題を選び、解決するために話し合いを進めることで、自分の考えを主体的に話すことができるようになると思った。また、話し合う目的を明確にし、話し合っただけのときよりどこかとなるための条件（決定条件）を考えさせることで、グループのみんなが意識して話し合うことができ、より良い意見が生まれるなど、話し合いの質が高まると考える。

○生活に直結した話題

あと数か月で最高学年になるこの時期において、どのように過ごすことができるかによって子供達の意識も変わってくると考える。まだ少し自覚がない子が多い状態でアンケートを行い、自分たちの現状を客観的に振り返らせることで、最高学年に向けて今自分たちに足りないものを考えさせ、課題を明確にすることができると思った。また、課題を解決させ、自分たちが目指す最高学年の姿に近づけることができるように、学習材を設定したことで、主体的に学習に取り組むことができると考えた。

- (4) 獲得した言葉の力を日常生活に活用し、言語生活を豊かにする。

本単元で獲得できる言葉の力は、「自分の立場を明確にして考えを伝える力」「考えを広げる話し合いとまとめる話し合いを通して、結論を出す力」などが挙げられる。

「自分の立場を明確にして考えを伝える力」を身に付けることで、自分の考えを確立し、しっかりとした意見を伝えることができる。そうすることで、相手に自分の意見を伝えやすくなり、説得力をもたせることができる。友達との関わりの中で、はっきりと自分の意見を伝えることは、コミュニケーションの基礎として大切な力となってくる。

「考えを広げる話し合いとまとめる話し合いを通して、結論を出す力」では、学級活動や委員会活動などでの話し合いに活かされる。学校の中心として活動していく中で、自分たちで計画をしたり実行したりする力は、最高学年を迎える今の時期にはとても大切になると考える。

本単元の活動では、学校生活をよりよくするために自分たちで話題を決め、実現するための話し合いを行い実行することで、他学年からの反応も見られ、自分たちの自信につながれると考えた。

5 単元計画（全6時間）

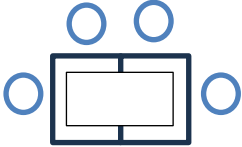
過程(次)	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
第一次 話題の設定	1	<p>1 学校生活をよりよくしていくための話し合いであることを理解する。</p> <p>2 これまでの話し合いのポイントを振り返り、よりよい話し合いの方法を考える。</p> <p>3 これまでの自分たちを振り返り、もっと良くしていくために必要なことを考えよう。</p> <p>「最高学年に向けて、今自分たちにできることはなんだろう？」</p> <p>4 決定条件を決める。</p>	<p>○今までの話し合いの学習で難しかったと思うことを出させて、話し合う学習であることを意識させる。</p> <p>○1年から4年までの話し合いの学習を振り返らせる。</p> <p>○事前にアンケートを取って見せることで、自分たちに足りない部分に気付かせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈決定条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生に向けて、自分たちが変わるもの。 ・みんなが納得してたのしめるもの。 ・三学期中にできるもの。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔主体的に学習に取り組む態度〕</p> <p><u>観察・ワークシート</u></p> <p>学習の見通しをもち、目的や条件を意識して話題を考えているかの確認。</p> <p>〔思考・判断・表現①〕</p> <p><u>観察・ワークシート</u></p> <p>目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関連付けたりしながら伝え合う内容を検討しているかの確認。</p> </div>
	2	<p>1 課題に対して、自分たちでできることを考える。</p> <p>2 決定条件をもとに、全体で話し合ってテーマを1つ決める。</p> <p>「最高学年に向けて、団結力を高めよう。」</p> <p>3 決定条件を確かめる。</p> <p>4 学習計画をたてる。</p>	<p>○いろいろな意見を出し合い、整理していく。</p> <p>○広くテーマを決めるようにさせる。</p> <p>○必要があれば付け加える</p>	
第二次 話し合いの進め方の	3	<p>1 話し合いのモデルを見て、考えを広げるとき、まとめるときに大切なことを確認する。</p> <p>2 グループごとにめあてを決めたり、司会や記録などの役割を決めたりする。</p>	<p>○意見の整理の仕方についても同時に確認させる。</p> <p>○モデルを最後まで見せずに、まとめる部分を自分たちでやってみることで、意見をまとめる経験をさせる。</p> <p>○教科書「たいせつ」の内容をおさえる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔知識・技能①〕</p> <p><u>テーブルシート</u></p> <p>情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っているか確認。</p> </div>

検討		3 自分の立場から意見を考え、付箋や短冊に書く。	○自分の考えを2つ～3つ書くようにさせる。 ○自分の考えを書く時間をしっかりととることで、自分の立場を明確にさせる。	〔知識・技能②〕 テーブルシート 思考にかかわる語句の量を増やし、話や文章の中で使っている。
第三次 考えの形成	4 話し合い一回目 (本時)	1 自分のめあてを決める。	○決定条件を意識しながら話し合うようにさせる。 ○グループの話し合いの進度を、話し合いボードで確認し、必要な支援を行う。 ○めあてに沿って振り返りを行わせる。	〔思考・判断・表現②〕 テーブルシート・振り返り 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしているかの確認。 〔主体的に学習に 取り組む態度〕 観察・ワークシート 身に付けたい力を意識して学習に取り組もうとしているかの確認。
		2 「自分たちにできること」について、理由や根拠をたずねあいながら話し合う。		
		3 各グループで決まったことを全体で紹介する。		
		4 自分たちの話し合いについて振り返りをする。		
	5 話し合い二回目	1 前時の話し合いの振り返りを出し合い、各グループで話し合ったことを確認する。	○うまくいかなかったところの改善点をみんなで考えさせる。	
		2 実行に向けた話し合いを進める。	○決定条件を意識しながら話し合いを進めさせる。	
		3 決まった内容を共有する。		
		4 自分たちの話し合いについて振り返りをする。		
第四次 共有	6	1 話し合いの仕方についての気づきや感想をまとめ、交流する。	○1時間目の振り返りと比べ、付けた力を確かめることができるようにする。 ○日常生活に活かす方法を具体化する。	〔主体的に学習に 取り組む態度〕 観察・ワークシート 学習を振り返って、学んだことや身に付けた力を意識しているかの確認。
		2 単元を通して、身に付いた力を振り返る。		
		3 身に付いた力を日常生活や他教科のどのような場面で活かすことができるかを考える。		
課外		・実行に向けて、準備を進める。 ・実践して活動を振り返る。		

6 本時の学習（4/6）

(1) 本時のねらい 互いの立場を明確にしながら計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準 評価方法
<p>1 本時の流れを確認し、自分のめあてを決める。</p> <div data-bbox="256 443 1275 517" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 最高学年に向けて、団結力を高めるためにできることを話し合おう。 </div>	<p>○前時の話し合いのポイントを確認する。</p>	
<p>2 グループで話し合う。</p> <p>・決定条件を意識して話し合う。</p> <div data-bbox="236 696 632 842" style="text-align: center;">  <p>1グループ 4～5人</p> </div> <div data-bbox="204 891 616 1167" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〈話し合いの流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 意見を伝える 2 質問し合う 3 整理する、まとめる 4 決まったことを書いて貼る。 5 振り返りをする。 </div> <div data-bbox="172 1216 647 1451" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〈決定条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生に向けて、自分たちが変わるもの。 ・みんなが納得してたのしめるもの。 ・三学期中にできるもの。 </div>	<p>○考えを広げる話し合いから、まとめる話し合いにつなげていくようにする。</p> <p>○それぞれの立場が明確になるように、理由や根拠をたずねるよう助言する。</p> <div data-bbox="683 869 1050 1099" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>話し合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机を2つにして話しやすいようにする。 ・付箋の色を変えて、誰の意見か一目でわかるようにする。 </div> <p>○テーブルシートに書き込みながら考えをまとめるように助言する。</p> <p>○話し合いボードを確認しながら、困っているグループに助言をする。</p> <p>○必要に応じて、全体に指導を行う。</p> <p>○グループの話し合いの振り返りと、自分自身の振り返りができるようにする。</p> <p>○次回の話し合いに向けて、本時の振り返りから、次回のグループのめあてを考える。</p>	<div data-bbox="1086 987 1417 1256" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〔思考・判断・表現②〕 テーブルシート・振り返り</p> <p>互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしているかの確認。</p> </div>
<p>3 グループで決まったことを全体で紹介しあう。</p>	<p>○それぞれのグループがどんなことをするのか、共通理解させる。</p> <p>○話し合いで難しかった、うまくいったことなども共有する。</p>	<div data-bbox="1074 1675 1417 1951" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>〔言葉による見方・考え方を働かせている児童の姿〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような言い方で伝えれば相手に伝わるかを吟味し、分かり合えるように話し合っている。 </div>

7 資料

・既習事項チェックシート

第2時に、自分の力を確認するために使用しました

話し合い活動チェックシート



考えを出し合い、話をつなげる

- ① 話題をたしかめ、自分の考えを言う。
- ② 友達のと自分の考えの同じ所や違うところを見つける。
- ③ 友達の考えの同じところや違うところを見つける。

話し合って考えを広げる

- ④ 全員が意見を出し、互いの考えを認めながら話し合う。
- ⑤ 出された意見について、質問したり、考えを足したりして、考えを広げる。

進行を考えながら話し合う

- ⑥ 話し合いの目的と、決めること、役割、進め方を確かめる。
- ⑦ 出た意見の、同じ所や違うところを整理しながら進行する。
- ⑧ 司会の進行に沿って、みんなでどうやって決めるのかも意識しながら話し合い、考えをまとめる。

自分とは違う立場になって考える

- ⑨ 相手の言葉や言動に、どんな理由があるか考える。
- ⑩ 相手を知っていることや、望んでいること、受け止め方を想像し、言い方を考える。

役割を意識しながら話し合う

- ⑪ 司会グループは、話し合いの目的と議題、進め方を示し、出された意見を整理しながら進行する。
- ⑫ 提案者や参加者は、自分の考えとその理由を明らかにして発言したり、質問したりする。
- ⑬ 整理した意見の中から目的と決め方に合わせて結論を出す。

二つの立場から、意見を述べ合う

- ⑭ 質問し合って、考えの違いを明確にする。
- ⑮ 互いの考えの良い所や問題点を比べ、どちらの考えに納得力があるのかも考える。

立場の違いを明確にして、計画的に話し合う。

- ⑯ 議題を確かめ、進行計画に沿って話し合う。
- ⑰ 質問を通して、互いの考えを詳しく知り、共通点や異なる点をはっきりさせて、考えを広げる。
- ⑱ 話し合いを整理しながら、決めた条件に沿って、考えをまとめる。

・ワークシート

今の自分にとってさうなことを書き出してみましょう



みんなで決めた話題

どんな話題が考えられるかな。

〈決定条件〉

・最髙学年にむけて、今、自分たちができることはなんだろう？

つなごう、役割のボタン！めざせ、よりよい学校生活①

名前

・単元計画・振り返りシート

時	学習内容	自分のめあて	振り返り
1	学習の流れを知り、決定条件を決める。		
2	話題を決め、学習計画をたてる。		
3	話し合いの仕方を知る。		
4	やることを決める話し合い		
5	内容を定める話し合い		
6	単元の振り返りをする。		

つなごう、役割のバトン！めざせ、よりよい学校生活

(名前)

時	学習内容	自分のめあて	振り返り
1	学習の流れを知り、決定条件を決める。		
2	話題を決め、学習計画をたてる。		
3	話し合いの仕方を知る。		
4	やることを決める話し合い		
5	内容を定める話し合い		
6	単元をふりかえる 実行の準備		

なごう、役割のバトン！めざせ、よりよい学校生活
(名前)

自分のめあて
振り返り

1 学習の流れを知り、決定条件を決める。
2 話題を決め、学習計画をたてる。
3 話し合いの仕方を知る。
4 やることを決める話し合い
5 内容を定める話し合い
6 単元をふりかえる
実行の準備

自分のめあて
振り返り

1 学習の流れを知り、決定条件を決める。
2 話題を決め、学習計画をたてる。
3 話し合いの仕方を知る。
4 やることを決める話し合い
5 内容を定める話し合い
6 単元をふりかえる
実行の準備

時	学習内容	自分のめあて	振り返り
1	学習の流れを知り、決定条件を決める。		
2	話題を決め、学習計画をたてる。		
3	話し合いの仕方を知る。		
4	やることを決める話し合い		
5	内容を定める話し合い		
6	単元を振り返り 実行の準備		

つなごう、役割のバトン！めざせ、よりよい学校生活
(名前)

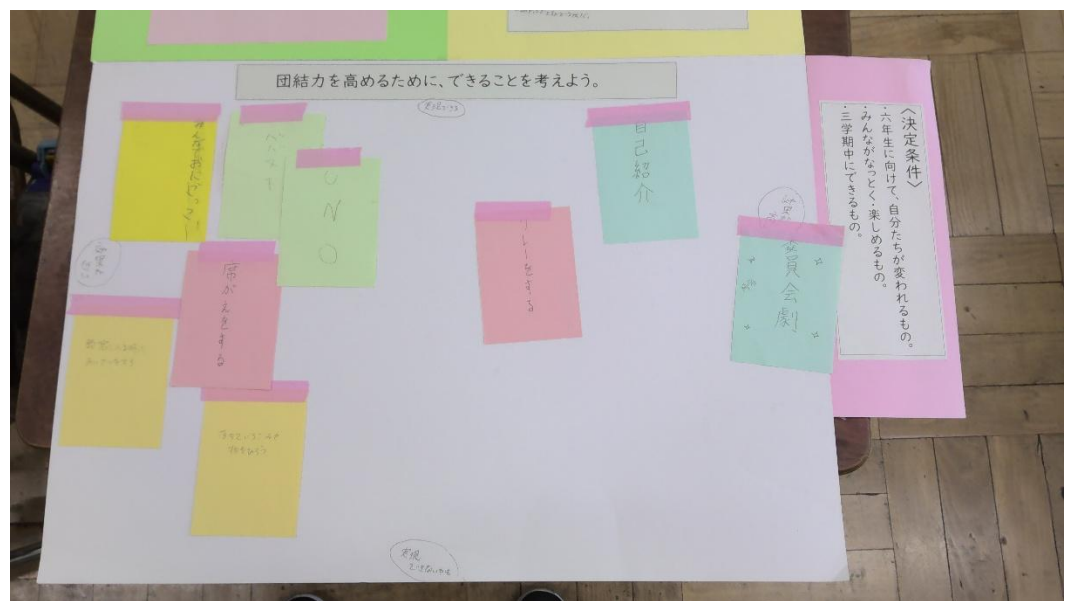
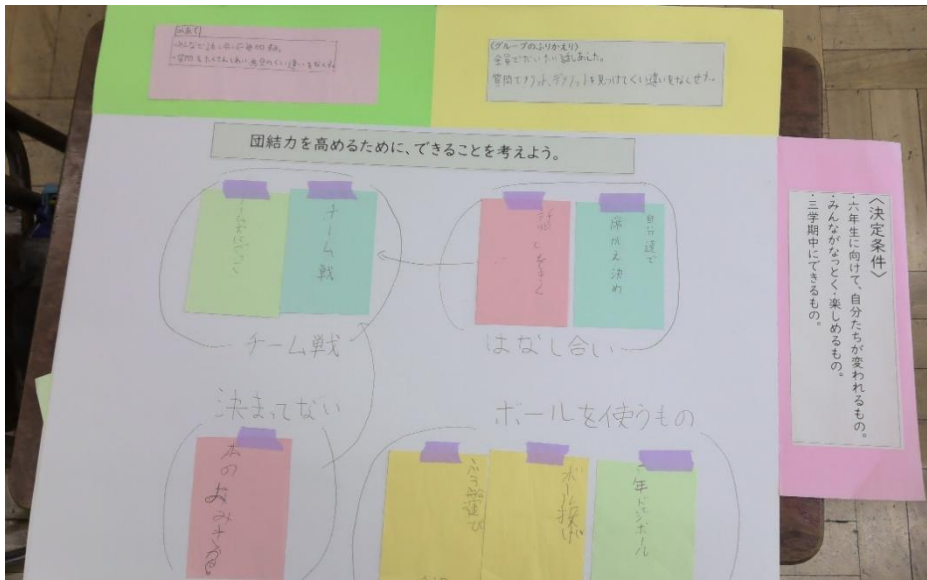
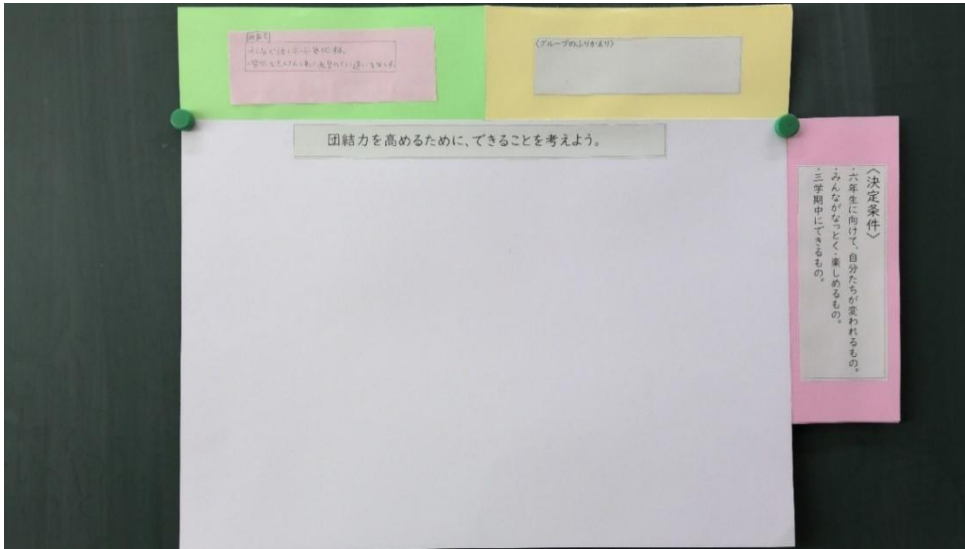
自分のめあて
振り返り

1 学習の流れを知り、決定条件を決める。
2 話題を決め、学習計画をたてる。
3 話し合いの仕方を知る。
4 やることを決める話し合い
5 内容を定める話し合い
6 単元を振り返り
実行の準備

自分のめあて
振り返り

1 学習の流れを知り、決定条件を決める。
2 話題を決め、学習計画をたてる。
3 話し合いの仕方を知る。
4 やることを決める話し合い
5 内容を定める話し合い
6 単元を振り返り
実行の準備

・テーブルシート 話し合いを可視化するために活用



第1時 板書

つなごう！役割のバトン
めがせよりよい学校生活

話すこと聞くことについて

質問したり意見を述べたりする
相手の言葉や動きに
十分な理由があることを
考える

課題
出た意見の同じところを
とりまとめ整理し
整理した意見の中から
目的に合わせて結論を出す

学校生活について

学級のいごち
6年生への感謝

課題
理想の6年生像
学校全体を意識して

最高学年に向けて、今自分たちができることは何だろうか

〈決定条件〉
・6年生に向けて、自分たちが
変えられるもの
・みんながなごしく楽しめるもの
・三学期中にできるもの

第2時 板書

つなごう！役割のバトン
めがせよりよい学校生活

学校全体を意識して
理想の6年生像

〈決定条件〉
・6年生に向けて自分たちが
変えられるもの
・みんながなごしく楽しめる
もの
・三学期中にできるもの

ルールを守る

はじめ、メリハリをつける

生活態度を正す

① 団結力を高める
コミュニケーション
話し合えるように
はかむことができるように

② いろいろなことにチャレンジ

③ 下級生に優しくできる

④ あいさつがたくさんできる

⑤ 学校全体が変われる
スロウ
下級生の为本

⑥ 団結力を高めるために、
できることを考えよう

第3時 板書

2月5日 木 高橋優来

つなごう！役割のバトン
めがせよりよい学校生活

団結力を高めるためにできることを話し合おう

〈決定条件〉
・6年生に向けて自分たちが
変えられるもの
・みんながなごしく楽しめる
もの
・三学期中にできるもの

① 整理する
共有問題、質問し合う
まとめる

② 決めてを決める

③ グループで話し合う

④ 意見を伝える

⑤ 質問し合う

⑥ 整理する、まとめる

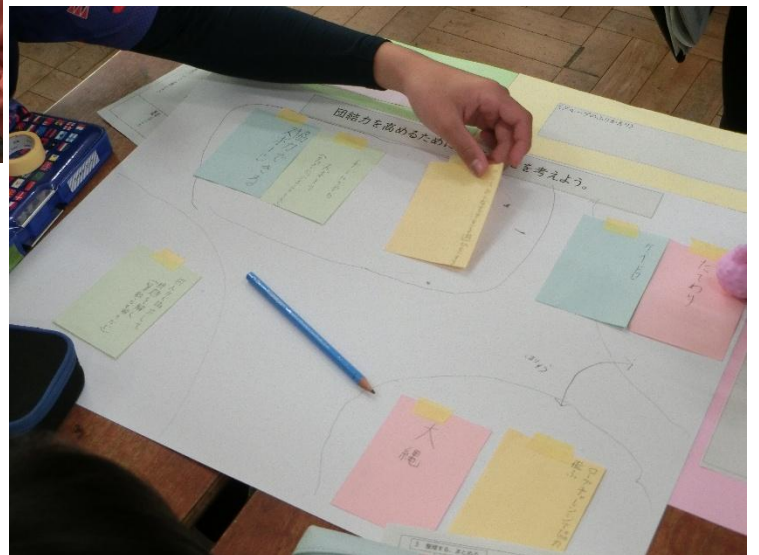
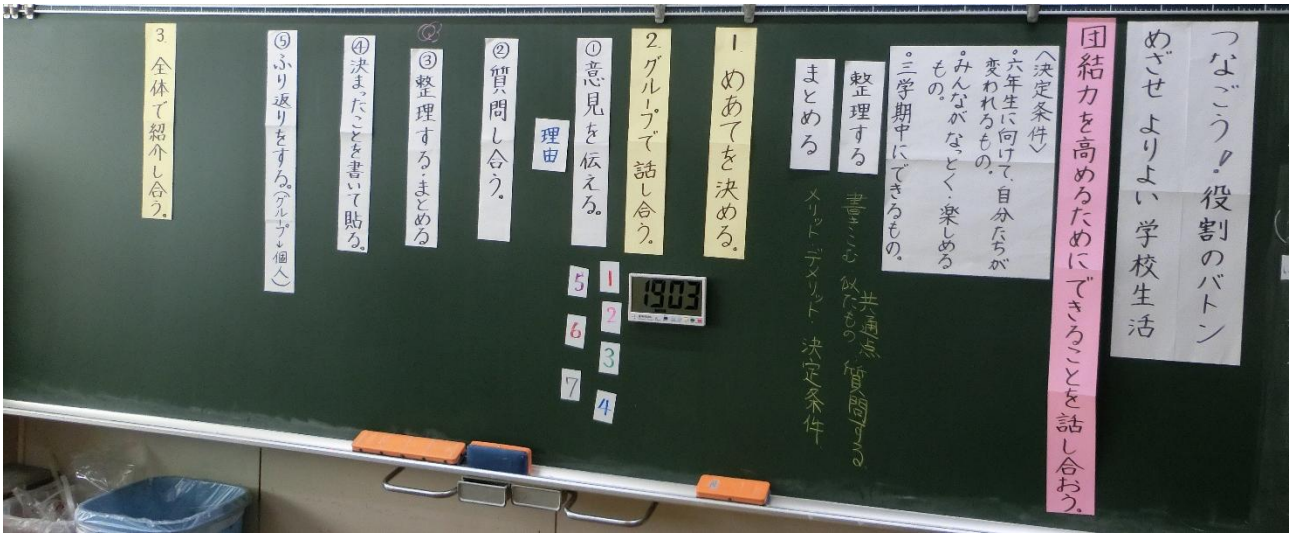
⑦ 決まったことを書いて貼る

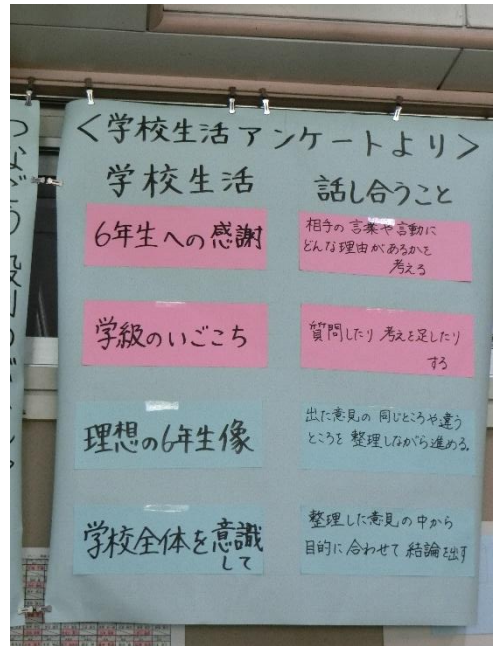
⑧ ふり返りをする。(グループ個人)

⑨ 全体で紹介し合う

1 2 3 4 5 6 7

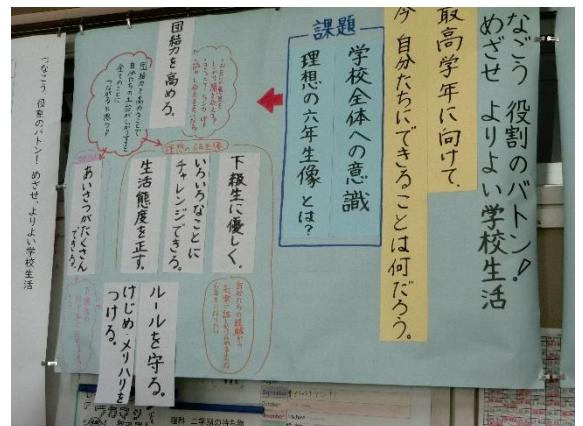
〈本時の様子〉





「なごう」役割のバトン！めさせ、よりよい学校生活

6	5	4	3	2	1	時
単元を振り返る。 (他の時間で 実行の準備)	話し合い②(実行するために)	話し合い①(内容を決める)	話し合うこと(整理まとめるを知る)	話題を決め、学習計画をたてる。	学習の見通しをもち、決定条件を決める。	学習内容



8 成果と課題

〈成果〉

- ・ 話題を設定するためにアンケートを取ったことで、児童の実態を把握でき、また児童自身も自分の課題に向き合うことができた。今の自分に足りないところを自覚することで、学習への意欲だけでなく、最高学年に向かう意識も高まった。
- ・ 話合いのモデルを提示したことで、意見を広げる時の話し方や整理の仕方、児童にとって課題となっていた意見のまとめ方などをイメージしやすくなった。モデルの提示の仕方を工夫し、途中で止めて児童がまとめ方を体験したことで、実際の自分たちの話合いに生かすことができた。
- ・ 2回の話合い活動を取り入れたことで、前回の課題を生かして次の話合いに臨むことができ、児童自身が身に付けたい力の定着を実感することができた。
- ・ テーブルシートに意見を出すことで、整理したりまとめたりすることが視覚化され、全員の意見を取り入れることができていた。普段あまり意見を言えない児童も、満足感を得られた。
- ・ 話合いボードで各班の進度を提示することで、教師が支援をしやすかっただけでなく、児童も他の班の進度がわかるので、積極的に話合いを進めようとしていた。

〈課題〉

- ・ 話題が抽象的なテーマになり、話題が多岐にわたってしまい、収束させることが難しかった。もう少しテーマを絞って話合いに取り組めるように具体的な内容にできるとよかった。
- ・ テーブルシートを使うときに、思考ツールも活用できるとなお良かった。使っている班もあったので、全体に周知できると良い。
- ・ 既習事項の確認シートで自分の課題を見付けてめあてとすることは良かったが、本単元で身に付けたい力もあるので、両方をめあてとすることの難しさもあった。「本時のめあて」「自分が身に付けたい力」などのように言葉を少し変えて提示するなどの工夫が必要である。
- ・ モデル動画の活用について、話合いの体験ができたことは良かったが、自分の意見ではないので意見を伝えることの難しさがあった。やってみるものの良さはあるので、さらに効果的な方法を模索していけるようにしたい。

〈部会として今後考えていきたいこと〉

- ・ 学年の発達段階に応じたテーブルシートの活用法を整理していくようにしたい。
- ・ 狭い空間で話し合う中で、場の工夫をしたり、声の大きさの調整ができるように指導したりすることも提案していきたい。